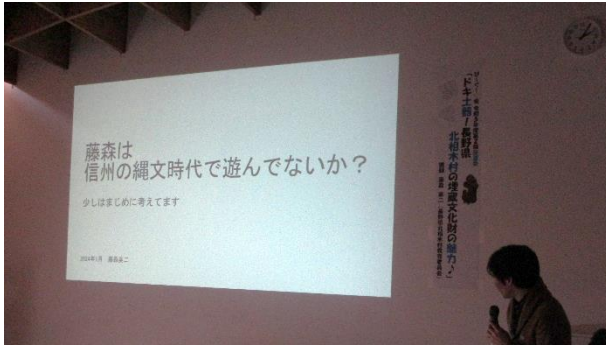


令和5年度ぴ〜ぐ〜♡会 第2回座談会 1月20日(土)14~15時

会場:じょーもびあ宮畑

今年度第2回目のぴ〜ぐ〜♡会座談会は、「ドキ土器！長野県北相木村の埋蔵文化財の魅力♪」と題し、北相木村教育委員会の、藤森英二さんをお迎えし、話を伺いました♪



↑「藤森は信州の縄文時代で遊んでないか？」という衝撃のタイトルで始まりました



藤森英二さん

人口は700人、コンビニも信号機もなく、役場の標高は約1,000mという北相木村。村には国指定史跡「栃原岩陰遺跡」があります。全国的にも珍しい洞窟遺跡の1つです。「岩」=「Rock」?……という言葉遊びから、「栃原岩陰遺跡フェスティバル(通称「栃原ロックフェス」)」を開催。もちろん、洞窟遺跡に関する講演会もフェス内で行われています。実際に遺跡から動物の骨で作られた釣り針が見つかったことから、親子向けのイベントとして、自分で動物の骨を材料に釣り針を作って博物館そばの川で釣ってみる体験活動も。なんと材料の骨は地元の猟師さんからもらったもの！



↑3Dプリンターで実際の土器のミニチュアの作成も。今後ガチャガチャの中身になる予定とのこと。

前回の座談会で登場いただいた松本貴子さん監督作品「掘る女〜縄文人の落とし物〜」にも藤森さんは登場されているのですが……その裏話も伺いました。映画の撮影をしていることは全く知らず、遺跡を見に行った日がたまたま撮影日。知り合いに「撮影を知ってて行ったんじゃないか？」と疑われたそうです。

藤森さんが書かれた本「信州の縄文時代が実はすごかったという本」のエピソードも。藤森さんの「恐竜が好き」という趣味が執筆・出版に至る契機になった点にはたいへん驚きました！



←こちらは藤森さんが作られたフィギュア。「特別展『縄文ー1万年の美の鼓動』」会場にも展示されました。